

教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
幼児教育学科	講師	草野 舞	修士(教育学)

I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
(2)作成した教科書・教材・参考書		
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
(4)その他教育活動上特記すべき事項		

II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
1.『孤児と救済のエポック—16～20世紀にみる子ども・家族規範の多層性—』	共著	平成31年2月	勁草書房	土屋敦、野々村淑子、乙須翼、草野舞、足達咲希、大森万理子、田中友佳子	153-193頁
(論文)					
1. 19世紀末イギリスの児童虐待防止法成立をめぐる「家族」像—全国児童虐待防止協会(NSPCC)の活動を中心に—	単著	平成26年8月	九州教育学会『九州教育学会研究紀要』第41巻		113-120頁
2. イギリス児童法(1908)成立過程における子ども像の統合—「子ども期の科学化」の内実—	単著	平成29年3月	九州大学教育基礎学研究会『教育基礎学研究』第14号		49-63頁
3. 教育制度としての学校給食—イギリスにおける学校給食法制定過程に着目して—	共著	平成30年2月	九州大学教職課程専門委員会『九州大学教職課程研究紀要』第2号	草野舞、野々村淑子	53-65頁
4. 教育課程編成の重要性に対する学生の見解をめぐる—考察	共著	平成31年3月	九州大学教職課程専門委員会『九州大学教職課程研究紀要』第3号	草野舞、江口潔	13-23頁

5. 学校・保育施設における安全教育—保育者の役割と指導計画—	共著	令和3年3月	尚綱子育て研究センター『児やらい』第17巻第2号	草野舞、柴田賢一	115-132頁
6. 20世紀初頭イギリスにおける優生思想の展開と親役割—優生教育協会の活動に着目して—	単著	令和3年3月	九州大学大学院人間環境学研究院教育学部門『大学院教育学研究紀要』第23号		19-33頁
7. 教育実習における指導法の一環としての安全教育—ヒヤリ・ハット事案データからの示唆—	共著	令和3年3月	九州大学教職課程専門委員会『九州大学教職課程研究紀要』第5号	木村拓也、草野舞、宮本聡、坂巻文彩、田原浩章、江口潔、伊藤崇達、上原洋祐	1-10頁
(その他:学会発表)					
1. 19世紀末イギリスの児童虐待防止法成立をめぐる「家族」像—全国児童虐待防止協会(NSPCC)の活動を中心に—	単独	平成25年11月	九州教育学会第65回大会 佐賀大学		
2. イギリス児童諸法の統合化にみる普遍的子ども像の構築—児童法(1908)をめぐる議論を手がかりに—	単独	平成27年9月	教育史学会第59回大会 宮城教育大学		
3. 20世紀初頭イギリスにおける優生思想の展開と子ども—優生教育協会の活動に着目して—	単独	平成28年10月	教育史学会第60回大会 横浜国立大学		
4. イギリスにおける子どもの健康の制度化—学校給食法(1906)制定過程を手がかりに—	単独	平成29年8月	日本教育学会第76回大会 桜美林大学		
5. 「人種の質的向上」をめぐる知の交換と子ども—第一回国際優生学会議(1912)を手がかりに—	単独	令和元年9月	教育史学会第63回大会 静岡大学		
(外部資金導入実績)					
令和2年度(2020年度)研究活動スタート支援	単独	令和2年度 ~令和3年度			
(その他:研究ノート)					
1. 大学における教員養成の展開をめぐる研究動向	共著	平成29年3月	九州大学教育基礎学研究会『教育基礎学研究』第14号	草野舞、原北祥悟	119-130頁
2. 体力衰退に関する部局間委員会報告書(1904)にみる子どもの生命への着目	単著	平成30年3月	九州大学教育基礎学研究会『教育基礎学研究』第15号		69-87頁
3. 教職課程における「学校と地域との連携」に関する理解と基礎知識に関する考察—「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」における指導法の開発に向けて—	共著	令和3年9月	九州大学大学院人間環境学、学府教育計画・測定評価論研究室『九州大学教育社会学研究集録』第22号	木村拓也、中世古貴彦、宮本聡、草野舞、坂巻文彩、徳永真直、陣内未来	13-19頁

Ⅲ 学会等及び社会における主な活動					
平成25年5月～現在に至る	九州教育学会会員				
平成27年5月～現在に至る	教育史学会会員				
平成29年4月～現在に至る	日本教育学会会員				
平成29年11月～令和元年10月	九州教育学会事務局 事務局員				
平成30年6月～現在に至る	比較家族史学会会員				
令和3年3月～現在に至る	幼児教育史学会会員				
令和3年12月～現在に至る	ジェンダー史学会会員				